

2020年7月28日（火）  
愛知県農業水産局農政部農業振興課  
野生イノシシ対策室  
経口ワクチン対策グループ  
担当 小出、後藤  
内線 5200、5203  
ダイヤル 052-954-6725

## 野生イノシシのCSF（豚熱）に対する免疫獲得率について

愛知県では、野生イノシシにCSFに対する免疫を獲得させるために、2019年3月から野生イノシシへの経口ワクチンの野外散布を実施するとともに、野生イノシシから検体を採取し遺伝子検査<sup>※1</sup>及び抗体検査<sup>※2</sup>を行っています。

この度、2020年1月～3月及び4月～6月までの検査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 1 検査結果について

遺伝子検査及び抗体検査の両方の結果が判明した野生イノシシに関する県内全体の免疫獲得率<sup>※3</sup>については、1月～3月では45%となり、4月～6月では28ポイント上昇の73%となりました。（裏面参照）

なお、欧州委員会（EC）が2010年に作成したガイドライン<sup>※4</sup>では、野生イノシシの免疫獲得率が40%を超えるとCSFの増加を止めるとされ、60%を超えるとCSFウイルスが根絶に向かうとされています。

今後も、愛知県に生息する野生イノシシ全体の免疫獲得率をより高めるために、経口ワクチン散布を継続します。

これまでの免疫獲得率については、以下の愛知県農業振興課Webページにて公表しています。

URL：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/meneki0728.html>

---

※1 「陽性」であれば、CSFに感染しており、「陰性」であれば感染していない。

※2 「陽性」であれば、CSFに対する抗体を保有しており、「陰性」であれば保有していない。

※3 遺伝子検査が「陰性」かつ抗体検査が「陽性」であるイノシシの頭数を、検査頭数で除したものとする。

※4 Guidelines on surveillance/monitoring, control and eradication of classical swine fever in wild boar

(SANCO/7032/2010(Rev4)【June 2010】)

## 2 免疫獲得率（1月～3月）

散布地域	調査対象頭数	免疫獲得頭数 <sup>※5</sup>	免疫獲得率
A	18頭	6頭	33%
B	6頭	6頭	100%
C	4頭	3頭	75%
D	24頭	20頭	83%
E	70頭	20頭	29%
全 体	122頭	55頭	45%

## 3 免疫獲得率（4月～6月）

散布地域	調査対象頭数	免疫獲得頭数 <sup>※5</sup>	免疫獲得率
A	16頭	13頭	81%
B	4頭	4頭	100%
C	11頭	9頭	82%
D	15頭	10頭	67%
E	13頭	7頭	54%
全 体	59頭	43頭	73%

### 【本調査対象となる野生イノシシ】

経口ワクチン摂取後、野生イノシシの体内で抗体が形成された後に調査を行う必要があるため、各市町村の、散布期間及び最終散布日から15日目以降に回収された野生イノシシを調査対象としている。

### 【本調査対象市町村内訳】

散布地域	散布回数		累積散布回数	市町村
	1月～3月	4月～6月		
A	2回	2回	8回	春日井市、犬山市、小牧市
B	2回	2回	7回	瀬戸市
C	2回	2回	6回	岡崎市
D	2回 (豊田市は1回)	2回	5回	豊橋市、豊田市、西尾市、幸田町
E	1回 (田原市、長久手市は2回)	2回	4回	豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、長久手市、設楽町、東栄町、豊根村

※5 遺伝子検査が「陰性」かつ抗体検査が「陽性」の頭数